

鹿児島キャリアデザイン専門学校 令和4年度 学校関係者評価

1 教育理念

深い人間愛の精神を基調として、人間尊重の理念に基づいて人格の形成を目指し、豊かな人間性と教養を備え、常に進歩し多様化するさまざまな分野のニーズに応えられる有能な人材を育成する。

2 教育目標

本校は、日々高度化する技術革新に対応できる知識と技術を備えた工業分野での人材の育成、時代のニーズに応えられる実践的で有能なクリエイターなど文化・教養分野での人材の育成、商業実務・医療秘書・医療事務に的確に対応できる商業実務分野での人材の育成、保育・幼児教育において社会の多様化したニーズに的確に対応できる教育・社会福祉分野での人材の育成、及びビューティ業界やブライダル業界で活躍できる優れた技能や有能な知識を備えた衛生分野での人材の育成、ならびに豊かな人間性と創造性を有する国際性豊かで実践的な人材の育成を行うことを目的とする。

3 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 「2. 学校運営」に関し、校務分掌については、自己評価結果をもとに職員へのヒアリングを実施し、令和4年度中に見直しを図るべく、ワークフローを作成して作業中である。「校務に積極的に取り組むことも経営に参加することになる」、「経営参加という視点が大切」というご意見をいただいたことから、令和5年度に向けて、校務分掌見直し後の職員への説明をより丁寧に実施し、各自が校務へより主体的に取り組めるよう進めていく。

(2) 「5. 学生支援」に関し、「カウンセラーを必要とする学生に対して、各教員が専門以外の趣味やこれまでの経験を活かして学生に接すれば、まだまだできることが広がっていくのではないか。」とのご意見をいただいた。「3. 教育活動」とも関連するが、今年度は、より教職員一人一人の能力を伸ばせるよう、研修費を学科ごとに割り振り、全教職員参加の研修も複数実施している。本学園内のカウンセリング事例を参考にした学生のメンタルサポート方法や、セルフ コーチングスキルを学び、教職員自身の能力を伸ばすことで、今後の学生指導に活用していく。

(3) 「10. 社会貢献・地域貢献」に関し、「地域住民が学校を頼ってくれる、というような役割を考えることが大切」というご意見をいただいた。現在、本校マルチホールを災害時の指定緊急避難場所として提供しているが、今後は本校に多彩な学科があることを活用し、地域の小中学生向けのキャリア教育、職業紹介講座等が実施できないか検討していく。

4 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価
1	学校の理念・目的は定められているか	3.7
2	社会のニーズ等を踏まえた学生の将来構想を抱いているか	3.4
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.2
4	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.5
現状と課題	策定した3つのポリシーについて対象者への周知がまだ十分とは言えないため、周知方法を改善していく必要がある。	
改善策	アドミッション・ポリシーについてはオープンキャンパス時に説明を実施する。カリキュラム・ポリシーおよびディプロマ・ポリシーについては教室掲示をしていく。	

関係者意見	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から3つのポリシーを提示して本校のあるべき姿を明確に示した事で、職員の意識改革にも繋がっていると思われる。 ・経営に参加するとは、職員一人ひとりにどんな動き、行動が求められているのか、ポリシーの提示が引き金になったのではと期待したい。 ・その視点で評価点を昨年度と比較すると4の評価項目（1）から（11）までほとんどの項目で前年度より上昇しており、今後さらに上がっていくものと期待したい。 ・ただ評価点が限りなく上昇（4に近づく）する事だけが目標ではなく、並行して評価項目の内容を深く掘り下げる作業、質を求める事はさらに重要でどこかの時点で、評価内容の質の改善を追求する時が無ければいけないと思う。 ⇒ 昨年度から、自己評価点検の際、低評価になっている項目については、該当職員に聞き取り調査を行い、改善できるものについてはすぐに対策を実施している。 ・「（1）教育理念・目標」について学校の経営目標は経営運営の羅針盤として存在するもので、進む方向を間違わないようにするためのものであることを忘れず、職員が同じ方向を向いて仕事をしているかが大事では。評価点が上がった事は良い方向へ向いている事を示しているのではないか。 ・教育理念、目標は「人間愛」「人格形成」など今の社会に最も重要な内容になっていると思います。 ・教育理念、目標をより目指しやすいための、学生たちに向けた行動指針を添えるとより分かりやすくなる気がいたします。 	3.8

(2) 学校運営

	評価項目	評価
1	学園の運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.5
2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.5
3	人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.5
4	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.6
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.4
現状と課題	概ね良好である。	
改善策	なし	
関係者意見		学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染の影響を受けて3年が経過し、地球規模での全く新しい未知の世界の来襲でわからないまま慌ただしく対応に追われた1年目に比べ、次第にその対応に慣れてきて、多忙な対応の中にも通常運営に可能な限り正常化に近い状態を取り組まれたのではと思う。従って、その成果が資格取得から進路の結果まで、3月の卒業式で証明されており、一連の流れを着実に実践されたことを高く評価したい。 ・新型コロナウイルスは感染力の強さから話題性に富みニュース性が非常に高い事から、学生をはじめ関係者の罹患に伴う学校閉校や学級閉鎖をはじめ、学校の対応の拙さからマスコミに取り上げられたり、地域の話題になる等、学校経営上大きな痛手になったり、苦情処理に振り回される事もなく乗り越えられたことは賞賛に値し、経営努力を高く評価したい。 ・良い教育、運営には働く職員さんたちの環境整備はとても大切なことだと思います。現状把握をしたうえでより働きがいのある環境整備を常に見直してみることも重要かと思えます。 ⇒ 昨年度、校務分掌の内容と配置方法について見直しを行ったため、今年度校務分掌の再評価を行い、更なる改善に努める。 		3.7

(3) 教育活動

	評価項目	評価
1	業界のニーズに沿った教育課程の編成を行っているか	3.5
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.5
3	学科等のシラバスは体系的に編成されているか	3.4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.5
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.6
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.7
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.6
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.6
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.5
11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.4
12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.4
現状と課題	概ね良好であるが、専門分野の業界ニーズの変化の把握や教職員としてのスキル向上にける時間が不足する時がある。	
改善策	業界との繋がりを有効活用して聞き取りを行うとともに、研修等に参加し教職員自身のスキルアップを図る。	
	関係者意見	学校関係者評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の業界ニーズ把握はどの様に行われているのでしょうか。就職試験や面接時の内容を生徒から聞き取る（アンケートを行う）のも1つの方法かと思えます。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 業界ごとのニーズについては、非常勤講師からの情報や、教育課程編成委員会での聞き取り、校内で実施される企業説明会等などから行っている。学生が就職試験受験後に提出する受験報告書や、就職担当職員の企業訪問報告書も業界動向の確認に役立っている。 ・先端的技術や知識等、専門分野の研修は多岐にわたっており、職場レベルでの研修は非常に難しく、団体、学会、個人研究に委ねるしかないのではと思う。 ・従って学校学科での研修は生活指導、コンプライアンス、人権養護、個人情報、家族支援等、時代により変化したもの、今後を生きる学生に必要なものを中心に、先ず職員が知識やスキルを上げて如何に教え込むかの研修が中心なのは。教科専門はその道のプロパーとして教師自らが磨くそれが前提では。 ・世の中の変化が急激に早まっている今の時代に合わせた教育、求められているカリキュラムなど常に情報収集が必要だと思えます。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ これまで全体として予算化していた研修費用を部署ごとに予算化したこともあり、研修参加が活発になった。スキルアップ=自己研鑽のため自己負担という考え方もあるが、学校学生への還元を目的として、学校としてしっかりサポートできる体制を整えていく。 	3.8

(4) 学修成果

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られているか	3.8
2	資格取得率の向上が図られているか	3.6
3	就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか	3.4
現状と課題	特になし	
改善策	なし	
	関係者意見	学校関係者評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のなかでも学生への教育環境の維持、資格取得へ向けた教育資源の提供など工夫しながら努力され、それが卒業時の進路決定として証明されており、平時に遜色ない取り組みだったと思う。今後は学校の目標（課題）への取り組みが全職員に共有され、お互いが課題意識を持って取り組む組織の強化をポリシーを軸として広げればと思う。 ・専門的なスキルを提供する学校である以上、取得の資格やスキル、人間力、コミュニケーション能力の強化がとて重要であり就職率に繋がると思います。コミュニケーション能力の強化に必要なものは、①視覚（第一印象）②言葉と声の出し方 ③相手のためにできているかどうかです。採用試験の際、企業は自分の言葉で話せるかどうかを見ているので、学生にはなぜコミュニケーション能力が必要なのか、根本の重要性を伝えていく必要があります。 ・鹿児島情報高校では、毎年実施しているキャリア教育の中で、外部講師を招いてマナー講習を実施している。校則の見直しを図る中で、身だしなみの3原則（清潔感、機能性、品位）を重視している。また、学生には「気づき、考え、実行する」ことが習慣化するように指導している。 ・会社になじめない身だしなみの社員もいるが、「自分が目立つことより、利用者が目立つことに喜びを得られる」よう指導している。 ⇒ 本校は多様な業界とつながる学校だけに、業界ごとに求められる容姿も多様化しており、統一した指導が難しい。ただし、「清潔感」は絶対とし、今年度「相手に不快な思いをさせたくない」ということを学生心得に明記して指導している。自動車整備科では、高額商品を扱うディーラーの社員としてふさわしいかどうかなど、学生の自立を促す指導をしている。専門学校は常に業界を見て動く必要がある。 	4.0

(5) 学生支援

	評価項目	評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.7
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.5
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.7
4	課外活動に対する支援体制はあるか	3.3
5	経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか	3.7
6	必要に応じて保護者との連携が図られているか	3.4
7	卒業生への支援体制はあるか	3.5
8	高等学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.6
現状と課題	概ね良好であるが、在校生および卒業生の就職支援に改善の余地がある。	
改善策	在校生の就職支援として「就職対策講座」を開設し、学生のニーズに合った就職指導を実施する。また、卒業生については学校へのアプローチをさらに容易にするためのしくみを検討する。	

関係者意見	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外の卒業生がUターン希望があった場合の現在のアプローチ方法を教えて欲しい。 ⇒ 卒業生が就職を希望する場合、現在は担任やキャリアセンターに相談がある。今後、再就職やUターン希望者への案内、キャリアセンターの連絡先掲載等、ホームページを改良予定である。 ・ 学生支援については、総じて高評価で昨年に比べ大きく向上している事は喜ばしいが、6の保護者との連携は「必要に応じて」の評価を求めており、実際はもっと丁寧な取り組みをされているのでは、もう少し高い評価でよいのでは。 一方7の項目は何を基準に評価したかが課題では。職務分掌に支援体制が記載されているだけでOKとはならないのでは。 ・ 学期末の連絡事項に行事ごとの写真が1枚あるだけで保護者の満足度が異なるため、担任側の意識の問題も大切である。 ・ 授業以外の時間に生徒一人一人とのコミュニケーションが取れているかがとても重要だと思います ・ 生徒との信頼関係をしっかりと構築するためには「聴く」ことがとても大切で、ティーチングのみではなく時にはコーチングで引き出すことが重要だと思います。 ⇒ GWまでには学生と面談するよう、担任へ方針を示しており、就職活動前や活動中にも面談を実施している。夏休み等を利用して、全員または希望者のみ三者面談を実施する学科もある。 問題や不安を抱える学生については、その都度面談を実施し、必要に応じて学園のそうだん支援事業所とも連携を図りながら学生サポートを行っている。 	3.9

(6) 教育環境

	評価項目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.5
2	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.5
3	防災訓練を定期的実施しているか	3.7
現状と課題	概ね良好である。	
改善策	なし	
関係者意見		学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね地域の学校のなかでは整っている気がいたします。 		4.0

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	3.7
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.6
3	授業料等、徴収する金額はすべて明示しているか	3.7
現状と課題	特になし	
改善策	なし	
関係者意見		学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校の進路指導と連携を図られ、学校名は熟知されていると思う。今後は運営の柱になっている3つのポリシーを基に取り組み、質の高い教育実践と実績、そして外部の評価が学生確保に繋がる、組織力、総合力を強固なものにする努力を期待したい。 ・ 社会的評価をあげていき、分担意識（就職はキャリアセンター担当など）がはびこらないようにして欲しい。先生方の努力が学生募集において良い結果を生む。キャリアデザのブランド力が上がることが望ましい。 ・ 概ね問題ないと思います 		4.0

(8) 財務

	評価項目	評価
1	学校の収支のバランスは取れているか	3.2
2	予算編成は教育目標・業務計画と整合性があるか	3.5
3	財務について会計監査を適切に実施しているか	3.6
4	財務の情報公開はされているか	3.6
現状と課題	特になし	
改善策	なし	
関係者意見		学校関係者評価
・概ね問題ないと思います。		3.4

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.7
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.5
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.6
4	自己評価結果を公開しているか	3.7
現状と課題	概ね良好であるが、個人情報の取り扱いについてさらに意識を高める必要がある。	
改善策	個人情報についての研修を実施することで最新の取り扱い方を認識し、個人情報の管理を徹底していく。	
関係者意見		学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施もしくは計画ができていないかお伺いしたい ⇒ 個人情報の取り扱いについて、学校は個人情報が多いため、更に職員の意識を高められるよう、今後学校に特化した外部研修を計画していく。 ・個人情報、虐待、肖像権等、現代社会で最も重きをなすものが簡単に制度紹介で終わっていないか。内容の具体化、具現化ができないまま言葉が独り歩きしていないか。これらの法律を職員が十分使いこなせる職員になっているか、社会に巣立つ学生が正しく使える取り組みをすべきと思う。 ・個人情報という概念にとらわれすぎて困っていることはないか。コロナウイルスを例に挙げると、感染拡大には個人情報保護という概念が起因したと予想される。プライバシー保護という名目で情報開示が制限されたため、適切な対策を打てずに拡大に繋がったと考えられる。個人情報の扱いについてはどこかで線引きをして進むべき時期にあるのかもしれない。 また、肖像権についても同様に、非承諾者がいれば安易にWEB等でアピールが出来ず、非承諾者だけ取り除けば差別になる。個人情報も肖像権も言葉だけが先走っていて、日常の活動が制約を受けているのではないか。 ・法令順守は今社会で最も重要視されています。学校自体の現状確認をしっかり行い、就職したのち社会人としていかに重要かも併せて指導が必要だと思えます。 		3.8

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.1
3	地域に対する公開講座やイベント支援等を積極的に実施しているか	3.3
現状と課題	昨年度に引き続き、コロナ禍により、ボランティア活動や地域のイベント支援等、例年通りの活動を実施するのが難しい状況であった。	
改善策	新型コロナウイルスの第5類への移行後、地域のイベントやボランティア活動への参加を推奨する。 また、近隣小中学校のキャリア教育の支援を検討していく。	
関係者意見		学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの第5類移行に伴い生徒がボランティア活動や地域イベントへの参加が行いやすくなると思うが、コロナ禍で実施されなかった期間のブランクは、活動への参加する意義や有意義な活動のノウハウ等が先輩から引き継がれていないため、先生方には積極的に支援を行って欲しい。 ・コロナが5類相当に位置づけられて終息しつつある言っても、相変わらず一定程度発生し治療対応は変わらず（保健所への報告義務が消えただけ）。この状態で積極的に地域社会への貢献活動を求めるのは難しい。学校は通常活動の維持、学生の感染防止の取り組みで精一杯と思う。まだ病院も面会禁止あるいは家族以外は禁止。 ・授業以外でボランティアに参加を促すことや、その行動によって評価する制度が必要だと思えます。 		3.4

(11) 国際交流

	評価項目	評価
1	留学生の受け入れを行っているか	3.8
2	留学生の受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3.8
3	留学生の学修・生活指導等が適切に行われているか	3.6
現状と課題	特になし	
改善策	なし	
関係者意見		学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナも明けて外国人の入学希望者が増えるので積極的な勧誘が必要だと思えます。 ・コロナ化に日本で学びたいと望む学生の国籍も広がっています。新たな国へのルートを開拓し、また特定技能へ繋がる斡旋などが必要とされると思えます。 		3.5

5 学校関係者評価委員のご意見に基づく改善方法

(1) 「1.教育理念・目標」に関し、「学生がより教育理念・目標を理解しやすくするために行動指針を添えてはどうか」とのご意見をいただいた。目指す職業が異なっても、全学生が社会人としてふさわしい行動ができるよう、ディプロマポリシー等に基づいた行動指針の策定に向けて、検討を進めていく。

(2) 「5.学生支援」に関し、卒業生への支援体制について改善の余地があるため、まずは卒業後にアクセスしやすくなるよう、ホームページの卒業生向けの内容を充実させる。そのうえで、Uターンや再就職等の更なる支援体制強化にも取り組んでいく。

(3) 「9.法令等の遵守」に関し、個人情報保護、肖像権、法令順守等について様々なご意見をいただいた。学校で取り扱う個人情報は幅広いため、現状の取り組みを確認するとともに、職員一人ひとりがより高い意識を持って個人情報保護や法令順守を行えるよう、研修その他各種注意喚起を行っていく。